

# 平成23年度 授業にいかせる考古学教室実施要領

## 1. 趣旨

考古学の概説を通して、歴史学における考古学の重要性を理解して頂くとともに発掘調査現場の見学により文化遺産としての埋蔵文化財を保護し、それを後世に伝えることの大切さや「なぜ歴史を学ぶのか」などを分かりやすく解説する。また、県内の遺跡の概要を知り、施設見学や火起こしなどの体験学習等を行うことにより埋蔵文化財センターの果たす役割についても認識を深めると共にそれらを学校での授業に取り入れてもらう契機とする。

## 2. 開催時期等

開催日	場 所	時間	募集人数
8月2日(火)	高知県立埋蔵文化財センター・発掘現場	9:00～16:00	10名程度

## 3. 内容

- (1) 各時代の遺跡を通じて考古学概論
- (2) 発掘調査現場の見学
- (3) 館内見学, 発掘体験など

## 4. 講師

(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター職員

## 5. 方法

- (1) 担当者は、各時代の特徴的なことを解説し、埋蔵文化財(遺跡を含む)や郷土の歴史への関心を深めてもらい、歴史学における考古学の重要性について解説する。
- (2) 埋蔵文化財センター周辺で行っている発掘調査現場を見学し、埋蔵文化財への関心を深めてもらうとともにその保存する意味についても理解してもらう。
- (3) 施設見学や火起こし体験などを通して埋蔵文化財センターの果たす役割について認識してもらう。
- (4) アンケート調査等も取り入れるなど今後の講座の参考に供する。

## 6. 開催告知および募集

- (1) 高知県教育センターの年間行事表に文化財課を通じて掲載してもらう。
- (2) 開催2ヵ月前に各学校に実施要領を送付し、参加者の募集を行う。